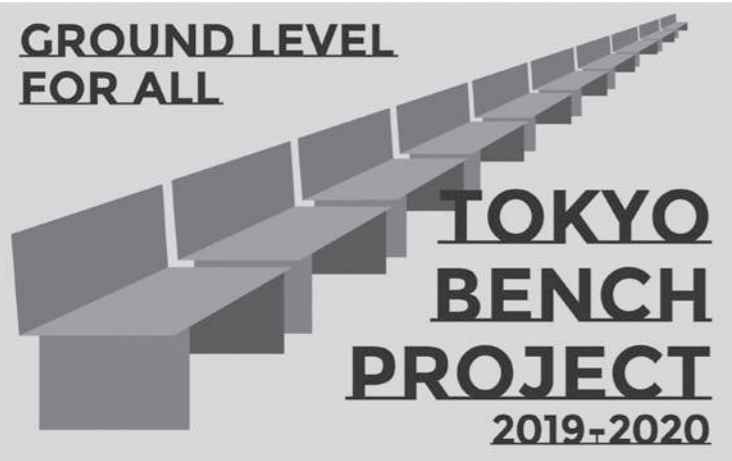


京橋

TOKYO BENCH PROJECT 2019-2020



「日常のまち、まちの1階に人が居る光景をつくる」をテーマに活動をするグランドレベル（田中元子+大西正紀）の「TOKYO BENCH PROJECT」では、東京ビエンナーレ2020の各エリアに“人・まち・アート”を繋ぐベンチを設置し、東京の風景を変える。本展では、そのキックオフとして、京橋の公開空地に数十台のベンチと通常の2倍サイズのベンチを設置。パブリックスペースにベンチを溢れさせ、日常の中での人々の営みや、人の居るまちの風景を一変させる。

会期：2019年10月27日（日）-11月24日（日）
 ※10月27日は「第47回大江戸活粋パレード日本橋・京橋まつり」会場にてTOKYO BENCH PROJECTキックオフイベントとして巨大ベンチも設置。
 会場：東京スクエアガーデン公開空地（東京都中央区京橋3-1-1）、中央通り、他
 主催：一般社団法人東京ビエンナーレ
 企画：グランドレベル（田中元子+大西正紀）
 デザイン監修：ツバメアーキテクツ
 協賛：東京建物株式会社

南池袋

TINY HOUSE FESTIVAL 2019 TINY HOUSE 展示会 テーマを持った20戸の小屋の展示会

TINY HOUSE（タイニーハウス）とは、「Tiny（小さな）house（家）」の意。竹内昌義（みかんぐみ）、中田理恵（HandiHouse project）を中心としたチームでは、東京ビエンナーレ2020に向けて「小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり」をテーマに、エリア各地に小さな小屋を配置する予定。TINY HOUSEをセルフビルドすることで本当に必要なものは何かを考え、持続可能な社会の在り方を提案する。本展では、20戸のTINY HOUSEを配し、多彩なデザインや幅広い使い方を展示する。

Talk Session

11月3日（日）10:00-18:00
 小さな家たちによる持続可能な暮らしづくり

会期：2019年11月2日（土）、3日（日）、4日（月・祝）
 会場：南池袋公園（東京都豊島区南池袋2-22-1）
 主催：東京ビエンナーレ2020 TINY HOUSE PROJECT 組織委員会
 共催：一般社団法人東京ビエンナーレ、一般社団法人HEAD研究会エネルギーTF
 協力：南池袋公園をよくする会、株式会社エネルギーまちづくり社、株式会社HandiHouse project



番町

ロイダッツチャリティショップ社会実験



チャリティショップとは、チャリティ団体が運営する中古品の販売店のこと。リサイクルショップと異なるのは、売り上げが各団体の慈善活動に当てられる点だ。東京ビエンナーレ2020の「ロイダッツチャリティショップ」では、山崎亮（コミュニティデザイナー）率いるstudio-Lが、海外の事例を元に【ロイダッツ】という名称のチャリティショップを出展させる。本展では、千代田区の「番町子ども会」や小学校PTAなどの協力の元、「チャリティショップ」の実験的運営を行う。

会期：2019年11月22日（金）、23日（土）、24日（日）
 会場：番町の庭（東京都千代田区四番町）
 主催・運営：studio-L 共催：一般社団法人東京ビエンナーレ
 運営協力：番町子ども会

お問い合わせ先
 東京ビエンナーレ2020事務局（一般社団法人東京ビエンナーレ）
 東京都千代田区外神田6-11-14
 電話：03-5816-3220 / FAX：03-5816-3221
 Eメール：info@tokyobiennale.jp
 WEBサイト：https://tokyobiennale.jp/



東京ビエンナーレ
 2020
 プレイベント
 Tokyo Biennale
 Dive into the city!
 Go beyond art!

TOKYO BIENNALE 2020 PRE-EVENT

神田

HOW TOKYO BIENNALE?
 東京ビエンナーレ
 2020計画展
 333I Arts Chiyoda
 2019.10.12 SAT-11.4 MON

日本橋

水都・日本橋のゲニウス
 ロキは、どこへ向かう?
 COREDO 室町テラス
 2019.10.26 SAT-11.10 SUN

番町

ロイダッツチャリティ
 ショップ社会実験
 番町の庭
 2019.11.22 FRI-11.24 SUN

南池袋

TINY HOUSE
 FESTIVAL 2019
 南池袋公園
 2019.11.2 SAT-11.4 MON

京橋

TOKYO BENCH PROJECT 2019-2020
 東京スクエアガーデン公開空地、中央通り、他
 2019.10.27 SUN-11.24 SUN



東京ビエンナーレ 2020 プレイベント

HOW TOKYO BIENNALE?

神田 東京ビエンナーレ2020計画展 2019年10月12日(土)–11月4日(月・祝)

東京の過去・現在・未来を思考する。2020年、東京都心北東部の千代田区、中央区、文京区、台東区を中心エリアに開催予定の「東京ビエンナーレ2020」。本展はその計画の全貌を紹介する展覧会。現代美術、デザイン、建築、批評等、多彩なジャンルにおよぶ参加作家によるプランを発表。参加作家の作品やドローイングを販売し、東京ビエンナーレ2020のプロジェクト資金にする「ギャラリーコーナー」や公募プロジェクト「ソーシャルダイブ」などの展示を行う。

アートを越えろ！ 都市に飛び込め！ 東京ビエンナーレ！

何を恐れているのか？何をこだわっているのか？
終わりのない変化には、容赦がない。今しか越える時は
ない。絶えず変わり、何度でも越えるしかない。記憶を
越えろ、歴史を越えろ、政治を越えろ、学校を越えろ、
規制を越えろ、デザインを越えろ、建築を越えろ、ダン
スを越えろ、ファッションを越えろ、ゲームを越えろ、メ
ディアを越えろ、自分を越えろ、アートを越えろ！

そして、先の見えない時代に何が待ち受けていようと、
自分事として飛び込め。好き嫌いを言っている場合では
ない。飛び込む事は、同時に寛容になるという事。見る
前に飛び、全てを受けとめる覚悟をもて。優しさに飛び
込め、楽しさに飛び込め、未来に飛び込め、教育に跳
び込め、町会に飛び込め、企業に飛び込め、他者に跳
び込め、権力に飛び込め、真実に飛び込め、スキマに
飛び込め、大衆に飛び込め、都市に飛び込め！

東京の社会的生態系が自ら変わるためには、今までの
世界観をそれぞれの領域で越えるしかない。見えなかつ
た新しい領域に飛び込むしかない。都市開発の名の下
に、歴史や文化を切り捨ててはならない。江戸期から培
ってきたソーシャルキャピタルを基盤に、文化をつくり蓄積
する社会へシフトチェンジしなくてはならない。「東京ビ
エンナーレ」は、そのための新しい文化のフレームを生
み出すために東京を開拓する。

狭い個人主義である「私」を越えろ！そして未知なる「私
たち」に飛び込め！

東京ビエンナーレ2020総合ディレクター
中村政人(アーティスト)

総合ディレクター
中村政人(アーティスト) 小池一子(クリエイティブディレクター)

プロジェクトプロデューサー
中西忍(建築家、日本科学未来館副館長)



参加者一覧 (五十音順)

池田晶紀(写真家)
伊藤ガビン(編集者)
宇川直宏(現在美術家、映像作家)
グランドレベル(田中元子+大西正紀)
栗原良彰(アーティスト)
黒田征太郎(画家、イラストレーター)*1
commandN
佐藤直樹(アートディレクター、デザイナー)
鈴木康広(アーティスト)
高山明(演出家、アーティスト)
竹内昌義(建築家)
立花文穂(アーティスト)
椿昇(現代美術家)
津村耕祐(ファッションデザイナー)
遠山正道(株式会社スマイルズ)

中村政人(アーティスト)
西尾美也(美術家)
西原珉(キュレーター)
西村雄輔(現代美術家)
島山直哉(写真家)
藤浩志(美術家)
宮永愛子(美術家)*1
川村亘平齋+宮本武典
村山修二郎(美術家)
柳井信乃(アーティスト)*1
山縣良和(ファッションデザイナー)
山崎亮(コミュニティデザイナー)
リー智子(ちむくい代表)
李美那(キュレーター)

*1 小池一子キュレーション参加作家

Symposium

10月12日(土)
批評とメディアの実践
プロジェクトシンポジウム

登壇者：毛利嘉孝(社会学者)ほか
Web Journal 準備号「アートと都市」に
関連した公開シンポジウムを実施。

11月2日(土)17:00-18:30
災害対応力向上プロジェクト
シンポジウム

登壇者：西田司(建築家、オンデザインパー
トナース代表)ほか

Talk Session

①10月14日(月・祝)15:00-17:00
②10月20日(日)15:00-17:00
③11月3日(日)15:00-17:00
アーティストトーク

参加アーティストおよびディレクターによるギャ
ラリートーク。

10月19日(土)17:30-19:00
学環創出プロジェクト
トーク

登壇者：伊藤達矢(東京藝術大学特任准
教授)ほか

10月30日(水)19:00-20:30
いかにして「デザインに
別視点を導入するか」

登壇者：佐藤直樹(東京ビエンナーレ2020
クリエイティブディレクター)、大原次郎(グラ
フィックデザイナー)、田中義久(グラフィック
デザイナー、美術家)、原田祐馬(デザイナー)

Presentation

10月19日(土)13:00-15:00
クラウドファンディング
イベント

進行：中西忍(日本科学未来館副館長、東京
ビエンナーレ2020プロジェクトプロデューサー)
クラウドファンディングを立ち上げた「ロイダ
ツチャリティショップ」、「災害対応力向上プロ
ジェクト」、「批評とメディアの実践プロジェクト」
がプレゼンテーションを行う。

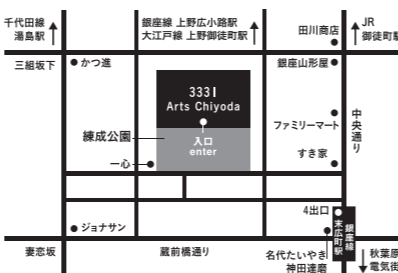
10月20日(日)18:00-20:00
アートライティングスクール(仮)
入学説明会—「文字の学
校」はじめます—

登壇者：福住廉(美術批評家)ほか
アートライティングスクール(仮)のプログ
ラム説明を行う。

Gallery

参加作家の作品を購入して
プロジェクトに参加

東京ビエンナーレ2020は完全に民間主導。
作品制作のマネタイズも自ら計画していく
のが特徴だ。作家が作品やプロダクトを
販売して、東京ビエンナーレ2020のプロ
ジェクト資金にする「ギャラリーコーナー」を
設置。クラウドファンディングをするプロ
ジェクトの紹介も行う。



Social Dive 公募プロジェクト

東京ビエンナーレ2020の公募プロジェクト
「ソーシャルダイブ」。 「東京にダイブし社会
と深く交わることを」ミッションに、50組の
意欲溢れるアーティストを募集。本展では、
ソーシャルダイブの選考プログラムの過程
を公開し、海外からの応募を受け付ける
OPEN CALL 情報を公開する。

Social Project

災害対応力向上プロジェクト

ディレクター：
西田司(建築家、オンデザインパートナーズ代表)
地域住民と大学生ボランティアが中心とな
り、東京ビエンナーレ2020の会場計画と
アートプロジェクトを通して、これまで結
びつけることができなかった市民関係を生
み出し、大規模災害に備える社会関係資本
を築くことを促すプロジェクト。

批評とメディアの実践
プロジェクト[RELATIONS]

ディレクター：毛利嘉孝(社会学者)
今、アートに何が出来るのか。アートとほ
かの領域——都市や生活、コミュニティ、
医療、福祉、そして科学に至るまでの関
係はどのようになっているのか。そしてア
ートの未来はどのように変化するかを探る
批評とメディアの実践型プロジェクト。

学環創出プロジェクト

ディレクター：
伊藤達矢(東京藝術大学特任准教授)
東京ビエンナーレ2020を教材として、大
学間の垣根を超えた学生のネットワークを
構築し、実践型の共創的教育プログラム
を展開する。東京ビエンナーレで活躍す
る学生の育成を行う。

アートライティングスクール(仮)

ディレクター：福住廉(美術批評家)
批評/編集/広報に通底する文字系の職
人を育成するプロジェクト。少人数制の
スクールを開校し、理論と実践の両面から
書く技術を磨き上げ、独自のメディアを
とおして東京ビエンナーレ2020にまつ
る文字を発信していく。

デザインプロジェクト

ディレクター：佐藤直樹(東京ビエン
ナーレ2020クリエイティブディレクター)
メンバー：大原次郎、セキユリヲ、
田中義久、原田祐馬
ロゴデザインのあり方や、会場サイン、
会場MAPなど、デザインが関わる領域に
対して、多種多様な属性を持った人
たちに開かれたデザインを、現在の最
先端を走る気鋭のデザイナーがチ
ームを組んで議論しながら制作す
る。

Information

HOW TOKYO BIENNALE?
東京ビエンナーレ2020計画展

会期：2019年10月12日(土) –
11月4日(月・祝) 開場 11:00-19:00
入場は30分前まで
入場料 一般500円、高校生以下無料
(入場料は東京ビエンナーレ2020実施
に向けた支援金といたします)
会場：アーツ千代田3331 1階メインギャ
ラリー(東京都千代田区外神田6-11-14)
主催：一般社団法人東京ビエンナーレ
特別協力：3331 Arts Chiyoda
https://tokyobiennale.jp/2019pre-event/

日本橋 2019年10月26日(土)–11月10日(日)

水都・日本橋のゲニウス・ロキは、どこへ向かう？ コンテンポラリーアーティスト3組の新作展

土地に深く眠る記憶を呼び覚まし、未来の社会への問題を提
起する。「水都東京 日本橋の未来」をテーマに、建築史家の
陣内秀信による時代考証をもとにした太古から地域に根つき
蓄積された東京の基層文化展示とともに、近未来のテクノロジー
社会に対し批評的な目を持つ3組の作家(鈴木康広、スプツ
ニ子!+西澤知美、やんツー)による新作を展示する。

◎イベント中には一部ご覧にならない作品があります。



〈参考作品〉鈴木康広



スプツニ子! + 西澤知美
東京減点女子医大/Tokyo Medical Universityfor Rejected Women

Symposium

ポスト2020 東京・日本橋の未来を描く
11月10日(日)15:00-17:00

会場：3階ホール
参加料：一般 1,500円、学生 1,000円

クリエイティブの視点、ビジネスの視点、街づくりの視点。さま
ざまなジャンルの第一線で活躍するクリエイターや専門家による
シンポジウムを開催。来場者とともに東京・日本橋の未来につ
いて語り合う。
登壇者：
箭内道彦(クリエイティブディレクター)
遠山正道(株式会社スマイルズ)
林千晶(株式会社ロフトワーク)
モデレーター：中村政人(東京ビエンナーレ 2020 総合ディレクター)

Gallery Talk

基層文化展示：水都東京アナロジー
11月9日(土)13:30-14:30

会場：3階カンファレンスルーム 無料

プロジェクションマッピングや錦絵などの展示監修メンバーによる
解説。
登壇者：陣内秀信(法政大学特任教授、法政大学江戸東京研究
センター初代センター長)ほか

Work Shop

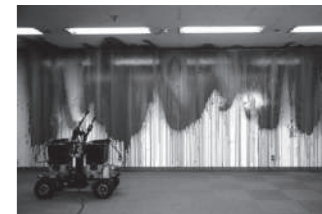
わくわく・すいすい「水辺探検」川から見る
日本橋の水辺の景色

会場：日本橋川
参加料：一律 1,500円 ※実施日はWEBサイトへ
企画・運営協力：一般社団法人まちふねみらい塾

水辺からの視点で見慣れた街を再発見する。船に乗って日本
橋界隈の川や運河をめぐり、見て、感じてもらうワークショップ。
いつもとは違う高さ、スピードを体験すると、日常で見える風景
が一変する。

Information

会期：2019年10月26日(土) –11月10日(日) 会期中無休 開場 12:00-20:00 ※最終日は18:00まで
会場：COREDO 室町テラス3階室町三井ホール&カンファレンス(東京都中央区日本橋室町3-2-1)
主催：一般社団法人東京ビエンナーレ 協賛：三井不動産株式会社
本企画は「NIHONBASHI MEGURU FES」と連携しています https://www.nihonbashimegurufes.com/



〈参考作品〉やんツー + 菅野創
SENSELESS DRAWING BOT #2 Performance
@TRANS ARTS TOKYO 2012

Talk Session

水都・東京/日本橋の未来アイデア
実現会議
10月27日(日)13:30-17:45

会場：3階ホール
参加料：一般1,000円、学生500円(茶代として)

研究者やアーティストの創造力でリアルな東京の未来を描くク
リエイティブトーク。「水都」をキーワードに、未来のビジョンを
プレゼン。候補アイデアの中から東京ビエンナーレのプロジェクト
としての実現可能性を探る。

[グループセッションA]

[1] 岩本唯史(水辺総研代表)、リー智子(ちむくい代表)、
加藤文俊(社会学、慶應 SFC 教授)
[2] セキユリヲ(デザイナー)、倉成英俊(電通Bチームリーダー)
モデレーター：西田司(建築家、オンデザインパートナーズ代表)

[グループセッションB]

[1] 石川智士(東海大学教授、総合地球環境学研究所客員教
授)、中島伸(都市デザイン、東京都市大学)ほか
[2] 田中元子(グランドレベル)、栗栖良依(バラ・クリエイ
ティブプロデューサー、SLOW LABEL)、関治之(Code for Japan代
表理事)
モデレーター：中西忍(日本科学未来館副館長、東京ビエン
ナーレ2020プロジェクトプロデューサー)

